



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2296 URL <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室IRチームマネージャー (氏名) 内山 健氏

TEL 03-5723-6885

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	414,623	4.1	12,625	34.7	13,544	31.5	10,946	58.0
2020年3月期第2四半期	432,400	1.4	9,371	17.9	10,296	19.6	6,927	14.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 10,895百万円 (92.7%) 2020年3月期第2四半期 5,652百万円 (21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	37.15	37.13
2020年3月期第2四半期	23.45	23.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	383,913	234,812	61.0
2020年3月期	389,426	229,178	58.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 234,109百万円 2020年3月期 227,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		17.00	17.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	820,000	3.8	20,000	15.8	21,000	7.5	16,000	39.9	54.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	297,355,059 株	2020年3月期	297,355,059 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,615,593 株	2020年3月期	2,794,446 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	294,638,805 株	2020年3月期2Q	295,465,584 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足資料・四半期決算説明資料の入手方法)

当社は、2020年11月12日(木)に機関投資家・アナリスト向けの第2四半期決算説明会(WEB会議)を開催する予定です。四半期決算補足資料・四半期決算説明資料は、四半期決算発表後、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況となっております。先行きについては、感染拡大の防止と経済活動の両立に向けた取り組みを進めているものの、収束時期が見通せない中、不透明な状況が続くと見込まれます。

当業界におきましては、新しい生活様式に基づく消費行動の変化が生じており、新たな経営環境への適応が求められています。

当社グループにつきましては、感染症等への対応マニュアルを整備し、従業員の安全確保や事業継続に向けた対策等を講じた上で、国民の生活インフラを支える食品メーカーとしての供給責任を果たすべく使命感を持って事業活動を行っております。

このような状況において、当社グループは「私たちは事業を通じて、健やかで豊かな社会の実現に貢献します」をグループ理念に、また「フェアスピリットと変革への挑戦を大切に、従業員とともに持続的に成長する食品リーディングカンパニー」をビジョンとし、チャレンジ精神を持って「中期経営計画2020」に掲げた施策等を遂行しております。そして伊藤ハム、米久がそれぞれ独自のブランド力を堅持し、安全・安心で高品質な商品とお客様にご満足いただけるサービスを提供し続け、コンプライアンスを最優先した上で、グループ一丸となってさらなる企業価値の向上を目指して取り組んでまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べて17,777百万円減少し、414,623百万円（前年同四半期比4.1%減）となりましたが、営業利益は、前年同四半期に比べて3,254百万円増加し、12,625百万円（前年同四半期比34.7%増）となりました。また、経常利益は、前年同四半期に比べて3,248百万円増加し、13,544百万円（前年同四半期比31.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べて4,019百万円増加し、10,946百万円（前年同四半期比58.0%増）となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

<加工食品事業>

ハム・ソーセージについては、テレビコマーシャルの投入や消費者キャンペーンの実施により、「The GRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュシリーズ」「ポークピッツ」「御殿場高原あらびきポーク」「原形ベーコンシリーズ」等の主力商品の拡販に努めましたが、外食向けの業務用商品の販売減少の影響もあり、売上高は前年並みとなりました。

調理加工食品については、「ラ・ピッツァ」「ピザガーデン」などのピザ類が堅調に推移したことに加え、「サラダチキン」「レンジでごちそうシリーズ」「旨包ボリュームリッチハンバーグ」等の消費者の簡便志向・健康志向に対応した商品が伸長したことから、販売数量、売上高ともに増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の加工食品事業の売上高は、前年同四半期に比べて4,235百万円増加し、150,631百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。営業利益は、家庭用商品の販売伸長に加え、コスト削減等に努めたことから、前年同四半期に比べて2,144百万円増加し、5,823百万円（前年同四半期比58.3%増）となりました。

<食肉事業>

国内事業については、家庭内での食事機会の増加による内食需要の高まりを受けて量販店向けの販売が好調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による海外調達先の稼働率低下と外食向けの需要減退の影響により、売上高は減少しました。一方、利益においては、国産牛肉と国産豚肉の利益率の改善が進んだことから、前年を上回りました。

海外事業については、アンズコフーズ社は、ニュージーランド政府の新型コロナウイルス対策による工場の一時稼働停止等の影響を受けて売上高は減少しましたが、コスト削減と採算重視の販売に努めた結果、利益は前年を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の食肉事業の売上高は、前年同四半期に比べて21,925百万円減少し、261,998百万円（前年同四半期比7.7%減）となりましたが、営業利益は、前年同四半期に比べて1,542百万円増加し、7,646百万円（前年同四半期比25.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて5,512百万円減少し、383,913百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、現金及び預金の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて11,146百万円減少し、149,100百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて5,633百万円増加し、234,812百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて2,712百万円減少（前年同四半期は2,114百万円の減少）し、39,058百万円となりました。

◇営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により資金は14,217百万円増加（前年同四半期は10,970百万円の増加）しました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少によるものであり、主な減少要因は、仕入債務の減少、法人税等の支払によるものであります。

◇投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により資金は6,220百万円減少（前年同四半期は2,185百万円の減少）しました。主な減少要因は、設備更新等の有形固定資産の取得による支出であります。

◇財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により資金は10,454百万円減少（前年同四半期は10,548百万円の減少）しました。主な減少要因は、短期借入金の減少、配当金の支払による支出であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年9月17日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,072	39,360
受取手形及び売掛金	87,902	84,207
商品及び製品	70,648	67,092
仕掛品	1,757	1,789
原材料及び貯蔵品	17,837	20,948
その他	6,293	7,822
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	226,498	221,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	37,175	36,293
機械装置及び運搬具（純額）	30,305	29,652
工具、器具及び備品（純額）	1,508	1,414
土地	25,830	25,541
リース資産（純額）	2,799	2,859
その他（純額）	1,141	1,009
有形固定資産合計	98,760	96,770
無形固定資産		
のれん	21,057	20,291
その他	1,626	1,882
無形固定資産合計	22,684	22,174
投資その他の資産		
投資有価証券	25,822	27,001
退職給付に係る資産	9,378	9,904
その他	6,408	6,978
貸倒引当金	△126	△121
投資その他の資産合計	41,482	43,762
固定資産合計	162,927	162,707
資産合計	389,426	383,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,574	57,762
電子記録債務	1,748	1,798
短期借入金	28,880	22,494
1年内返済予定の長期借入金	10,179	10,165
未払法人税等	1,707	2,216
賞与引当金	5,280	3,709
役員賞与引当金	120	59
災害損失引当金	544	471
その他	28,069	27,176
流動負債合計	138,106	125,854
固定負債		
長期借入金	10,872	10,794
退職給付に係る負債	2,208	2,149
資産除去債務	1,461	1,475
その他	7,598	8,826
固定負債合計	22,140	23,246
負債合計	160,247	149,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,003	30,003
資本剰余金	96,267	96,624
利益剰余金	101,792	107,731
自己株式	△2,293	△2,146
株主資本合計	225,770	232,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,823	5,693
繰延ヘッジ損益	△355	△638
為替換算調整勘定	△3,767	△4,568
退職給付に係る調整累計額	1,301	1,410
その他の包括利益累計額合計	2,002	1,896
新株予約権	131	131
非支配株主持分	1,275	571
純資産合計	229,178	234,812
負債純資産合計	389,426	383,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	432,400	414,623
売上原価	366,513	346,332
売上総利益	65,886	68,290
販売費及び一般管理費	56,515	55,664
営業利益	9,371	12,625
営業外収益		
受取利息	62	31
受取配当金	141	137
受取賃貸料	217	209
持分法による投資利益	409	449
その他	652	489
営業外収益合計	1,483	1,317
営業外費用		
支払利息	435	229
不動産賃貸費用	75	63
その他	46	106
営業外費用合計	558	398
経常利益	10,296	13,544
特別利益		
固定資産売却益	43	12
投資有価証券売却益	78	5
受取保険金	171	2,597
その他	13	-
特別利益合計	307	2,615
特別損失		
固定資産除却損	145	139
災害による損失	82	-
その他	9	10
特別損失合計	237	149
税金等調整前四半期純利益	10,365	16,010
法人税、住民税及び事業税	2,273	3,845
法人税等調整額	1,082	1,147
法人税等合計	3,356	4,992
四半期純利益	7,008	11,017
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	70
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,927	10,946

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	7,008	11,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△621	865
繰延ヘッジ損益	111	△283
為替換算調整勘定	△794	△613
退職給付に係る調整額	289	94
持分法適用会社に対する持分相当額	△341	△185
その他の包括利益合計	△1,356	△121
四半期包括利益	5,652	10,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,562	10,840
非支配株主に係る四半期包括利益	90	55

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,365	16,010
減価償却費	5,324	5,291
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,045	△1,571
のれん償却額	757	756
受取利息及び受取配当金	△203	△169
支払利息	435	229
受取保険金	△451	△2,698
災害による損失	82	-
持分法による投資損益 (△は益)	△409	△449
投資有価証券売却損益 (△は益)	△77	0
売上債権の増減額 (△は増加)	10,885	2,971
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,876	△430
仕入債務の増減額 (△は減少)	△529	△3,056
未払金の増減額 (△は減少)	△1,670	△1,111
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8	△43
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△172	△392
その他	97	△649
小計	16,503	14,685
利息及び配当金の受取額	299	408
保険金の受取額	363	2,711
利息の支払額	△436	△229
災害損失の支払額	-	△73
法人税等の支払額	△5,759	△3,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,970	14,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,393	△4,742
無形固定資産の取得による支出	△209	△542
投資有価証券の取得による支出	△32	△32
投資有価証券の売却及び償還による収入	207	53
関係会社株式の有償減資による収入	2,969	-
貸付けによる支出	△151	△119
貸付金の回収による収入	177	96
その他	248	△934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,185	△6,220
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,023	△4,613
長期借入金の返済による支出	△111	△91
配当金の支払額	△5,014	△5,005
その他	△399	△744
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,548	△10,454
現金及び現金同等物に係る換算差額	△350	△255
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,114	△2,712
現金及び現金同等物の期首残高	34,643	41,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,528	39,058

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	146,396	283,924	430,321	2,079	432,400	—	432,400
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,137	13,114	15,252	13,361	28,613	△28,613	—
計	148,534	297,038	445,573	15,441	461,014	△28,613	432,400
セグメント利益	3,678	6,104	9,782	150	9,933	△561	9,371

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益の調整額の主な内容は、のれんの償却額△694百万円等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業	食肉 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	150,631	261,998	412,630	1,992	414,623	—	414,623
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,626	12,883	14,510	14,226	28,737	△28,737	—
計	152,258	274,882	427,141	16,218	443,360	△28,737	414,623
セグメント利益又は 損失(△)	5,823	7,646	13,469	△5	13,464	△838	12,625

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び人事給与関連業務サービス等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の主な内容は、のれんの償却額△694百万円等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。